

介護ビジネスの未来を創る—
週刊 高齢者住宅新聞
 Elderly Press Newspaper

第32回 シナリオを想定することのメリットは



前回コラムで、私は物事を考える際、常に3案方式(A案:うまくいく、B案:まあまあ、C案:うまくいかない)を用いると書きました。3種類のシナリオを想定して臨

むことの最大のメリットは、大きな失敗を回避できるという点です。私はたいていC案をもって物事に取り掛かるので、その結果がB案になれば「よかった」と思えるし、A案が実現すれば「万々歳!」となる。良いことづくめです(笑)。

3案方式で失敗を成功に繋げる

先人の戦争を思い出してください。開戦の理由は「戦争以外の選択肢はない」でした。ノモンハン事件やインパール作戦での失敗の原因の1つは、リーダーによる「この道しかない」という勝算なき決断でした。結果、私たちは1945年8月の敗戦を迎えるを得なかった

禅問答のようで少々、わかりづらいかもしれませんが。実は弊社のスタッフも私の3案方式に悩まされています。昨日は〇〇で行く」と言いながら、今日は「△△に変更」という指示が出て、明日は「××にする」になる。そのため「社長はいいかげんだ」との批判も出てくるのですが、例えば、先の戦争を思い出してください。開戦の理由は「戦争以外の選択肢はない」でした。ノモンハン事件やインパール作戦での失敗の原因の1つは、リーダーによる「この道しかない」という勝算なき決断でした。結果、私たちは1945年8月の敗戦を迎えるを得なかった

のです。これらについては『失敗の本質—日本軍の組織論的研究』という本に詳しく紹介されていますが、タイトルに「組織論的研究」とあるように軍隊のみならず、会社組織、とりわけ大企業において当てはまるどころが少なくありません。大手企業が不正会計やデータ改ざんなどの不祥事に揺れるのは、組織が大きいため、3案方式的な発想が通らないことにあると思います。それに加えて、日本の国や社会は、歴史上「後退戦」をやったことがない。明治維新後は欧米に追いつけ追い越せ、戦後は闇市からの復興を経て高度経済成長へ。現在の人口減少

2018年(平成30年)
3月14日
 第485号 (毎週水曜日発行)
 (株) 高齢者住宅新聞社
 〒104-0061 東京都中央区銀座8-12-15
 ☎03-3543-6852(編集部)
 発行人 西岡一紀
 年間購読料 22,680円(送料込・税込)
 ホームページ
<http://koureisha-jutaku.com>

(株)コミュニティネット **高橋 英 與**
 (たかはし・ひでよ)



1948年岩手県花巻市生まれ。コーポラティブハウスや有料老人ホームづくりを経て、2006年コミュニティネット代表取締役就任。自立型高齢者住宅を中心とした団地・過疎地再生事業に携わり、現在は地方創生の最前線に立つ。主な著書に『コミュニティ革命「地域プロデューサー」が日本を変える』(彩流社)。

や少子高齢化は、上昇志向一辺倒で来た近代150年において初めての経験なのです。後退戦にも対応できる私どもコミュニティネットは、それゆえに国や自治体からサポートを依頼されるのです。私はこの3案方式による柔軟性を、大企業や国にも広げたいと考えています。